

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	うるぎ米うるぎ対策パート3事業
事業主体 (連絡先)	売木村 0260-28-2311
事業区分	(1) 地域協同の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,613,200円 (うち支援金: 3,080,000円)

事業内容

交流や観光拠点である道の駅に精米機を設置。道の駅施設内の精米コーナー付近において村の観光情報誌や特産品情報をポップPR。道の駅に精米機を設置する事で、精米機の無い近隣町村からも日常的に人の流れが増加し、道の駅での消費活動の活性化に繋がり、近隣町村を含めた地産地消として推進が期待される。

- ・精米機講習会: 11月18日 道の駅南信州うるぎコイン精米機前 6名参加
- ・イベント・物販の参加: 11月23日 平岡駅 360名参加
- ・賞品提供: 12月24日 阿南町 おいでんスタンプラリー抽選会 応募者425名

事業効果

- ① 令和3年度より近隣町村に精米所が無くなったため、利用頻度の増加効果があった。
- ② 直売所米売上高が令和2年度は1,696,835円に対して、令和3年度は1,752,100円と増加している。
- ③ ふるさと納税返礼品が令和2年度は52袋に対して令和3年度は52袋と横ばい状態であった。
- ④ 利用者を含め新規就農者を目指して講習会を開催したが、新規就農者の参加者はなく、就農希望者は0名であった。

今後の取り組み

- (1) 農産物直売所「うるぎふるさと館」では、例年6月から8月は米の出荷が鈍る傾向にある。需要の多いこの時期に販売を強化し、うるぎ米の需要増加とブランドの維持を図る。
- (2) 村内公共施設やふるさと納税返礼品への供給を高品質で安定的かつ継続的に行う。



【精米機】

【目標・ねらい】

- ① 精米機の利用者を拡大
- ② 直売所売上高の増加
- ③ ふるさと納税返礼品の増加
- ④ 新規就農者の増加

※自己評価【C】

【理由】

- ・近隣町村に精米所が無くなったため利用が3.3%増加。
- ・直売所米売上が前年より増加。
- ・ふるさと納税返礼品は横ばい。
- ・就農目当ての利用者が居なかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある